



今回の避難訓練(火災想定)では、南三陸消防署の方においでいただき、学校で立てた計画についての疑問点などを直に聞いていただきました。その場での質問にも丁寧に応じていただきました。ありがとうございます。参観していただいた感想の一部を以下に、ご紹介いたします。

- 「おはしも」を守り、訓練にまじめに取り組んでいた。
 - 設備を使用した訓練は実践的であるので続けてほしい。
 - 課題をもって訓練を行っていた。先生方の防火意識が高い。

以上のような感想の他に、「(防火扉による)出火区画の形成と避難の方法」や「屋内消火栓の使用と初期消火」など消防用設備等を活用した訓練を勧めていただきました。

『ひとつずついいね！で確認 火の用心』

令和元年度 防火標語



通信

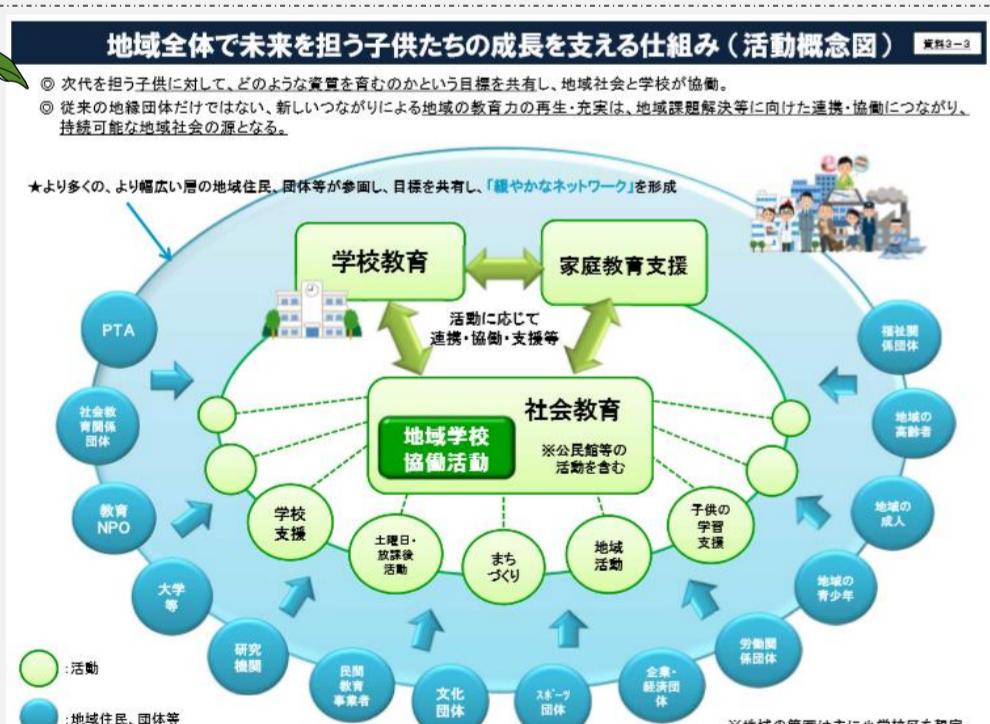
第12号
発行元
入谷小CS推進
委員会編集部



10月30日(水)8時30分に学校を出発して、阿部博之さんのりんご園へりんごの収穫に行きも先日の台風19号の影響で農作物が被害をさんによると「春の予定ではもつと(りんごが)とお話ししていました。元気な1年生とりん笑顔になつてくれたのがなによりです。

被害には遭いま
したが、自然の
恵みを受けたお
いしいりんごを
いただけること
に感謝したいと
思います。

自然の恵みに感謝して：



今年度から入谷小学校では学校運営協議会が設置され、コミュニティ・スクールが進められています。学校長から保護者・地域の皆さんに「学校運営の基本方針」が説明されました。現在、入谷小学校型の組織によって進められていますが、文部科学省が推奨する「学校」と「地域学校協働本部」が両輪となる組織には時間が必要とされます。上の図は『地域学校協働活動』の活動概念図です。

コミュニティ・スクールは、学校と保護者や地域の皆さんとともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める法律（地教行法第47条の6）に基づいた仕組みです。

この仕組みを進めるにあたり、今回は『地域学校協働活動本部』について紹介いたしました。少しずつですがコミュニティ・スクールについて理解を深めていってほしいと思います。

理解を深めよう！コミュニケーション・スクール